

# 社教連会報

発行 一般社団法人 全国社会教育委員連合

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6  
日本弘道会ビル7階 TEL 03-6380-8540

## 社会教育の「不易流行」

文部科学省生涯学習政策局長

河村 潤子

社会・経済の動向を展望し、今年度も多くの提言や政府文書が発表されています。社会教育の在り方との関連から傾向を読み解いてみると、地方創生、国際化・グローバル化、多様性と協働の尊重が挙げられます。

我が国が直面する人口減少克服、地方創生という課題に対応して法定の「まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、昨年末に国としての総合戦略が策定されました。地方での

安定的な雇用創出、地方への人の流れ、地域特性に応じた地域づくり等が掲げられ、今後は地域の多様な主体が参画して自らの地域総合戦略を創ることが期待されています。社会教育に関しては、社会教育施設や大学等がNPO等とも連携し、学習を通じ、地域を担う人材を育成し、地域の課題解決やまちづくりにつなげることに、全小・中学校区での学校・地域の連携体制の構築、ふるさとを学ぶ活動の推進等が示されています。

河村 潤子

(かわむら じゅんこ)

プロフィール

京都府綾部市生まれ、東京育ち。

文部省入省後、社会教育婦人教育課、社会教育課等を経て、千葉市教育委員会出向(社会教育部、生涯学習部、教育総務部参事)、文部省中学校課長、研究助成課長、文部科学省私学部長、文化庁次長等の後、平成二六年七月から生涯学習政策局長。

す。

これに先立つ秋には、ユネスコのESD(持続可能な開発のための教育)関係の国際会議が岡山、名古屋で次々に開かれました。環境問題のみならず、防災、文化の伝承、新産業創出等、地域社会の持続・発展には、地域の人々自身が連帯し、外部の力も活用して構想を創ることが大切であり、その鍵は学校教育と共に社会教育にあることが確認され、日本モラルへの期待も窺えました。

中央教育審議会でも、諮問、答申が相次いでいますが、次代の教育に向けた議論に通底するのは、一人一人の状況に合った学習機会が提供され、また、年齢、性別、国籍、文化的背景や経済的状況の異なる人々と主体的、能動的に協働していく未来への力を育成する必要性です。

今、改めて社会教育の営みを考えてみると、最も身近な地域から始まり、相互に学び合う活動が重視されることはその原点とも言えます。

社会教育の変わらぬ機能を保持しつつ、今日の行政をめぐる潮流を活かしながら明日の社会の創造にご尽力くださることを、社会教育委員の皆様願っております。

## 第56回全国社会教育研究大会(徳島大会)を終えて

第56回全国社会教育研究大会徳島大会を開催いたしましたところ、全国各地から社会教育委員・社会教育関係者の皆様には、遠路はるばる徳島の地にお越しいただき、厚くお礼申し上げます。県外より約600名、徳島県内より約550名の方にご参加いただきました。

本大会は、中国・四国地区社会教育研究大会も兼ねており、中国・四国の皆様にも、大会運営にご協力いただき感謝申し上げます。



幸い天候にも恵まれ、滞りなく大会を終えることができましたのは、全国社会教育委員連合の大橋会長はじめ役員の方々、ご参加いただきました皆様、後援や協賛をしていただきました皆様、後援や協賛をしていただきました皆様方々のお力のおかげと深く感謝申し上げます。

さらに、3年前から準備にご協力いただきました徳島県内各市町村の教育委員会、社会教育委員及び社会教育関係者の皆様には、「お接待の心」で運営に当たっていただきました心からお礼申し上げます。

本大会は、「夢・絆 阿波からつむぐ社会教育」をスローガンに掲げ、「共に支え 互いに認め合いながら豊かに生きる社会の創造」を研究主題に設定し、意見交換を通じて全国に発信することができました。

記念講演では、本県で人口が最も少なく、高齢化率が最も高い上勝町で「葉っぱビジネス」を立ち上げ、地域に活気をもたらした「株式会社いどり」代表取締役社長の横石知二さんから、平均年齢70歳を超えても生き生き

と働き、共に支え合い豊かな社会を目指している高齢者の姿を紹介していただきました。

シンポジウムでは、「防災でつながる地域の絆」―学校・家庭・地域の連携で進める防災生涯学習―のもとに徳島県内で子どもから高齢者まで地域ぐるみで取り組んでいる防災・減災の取り組みについて討議しました。

分科会は、「共に支え合う」をテーマに素晴らしい発表をしていただきました。また、意見交換や助言者の適切な助言により、各分科会からより深まった内容を全国へ発信できたものと思われまます。

記念講演、シンポジウム、分科会の概要については、大会報告書にまとめておりますので、今後の実践にお役立ててください。

四国海路開創1200年に当たっていた昨年は、より多くの人々が歩き海路に挑戦していました。本大会にご参加の皆様もいつの日か四国遍礼の旅を一番礼所霊山寺から経験していただけると幸いです。



来年度、第57回全国社会教育研究大会の間催となる大分県の社会教育委員連絡協議会をはじめ大会関係者の皆様には、大会のご盛況を祈念し、「すだちの国」徳島から「かほすの国」大分へパトスタツチいたします。

結びとして、徳島大会開催に当たり、ご指導・ご助言・ご協力いただきましたすべての皆様にご改めてお礼申し上げます。

平成27年度、大分でお会いしましょう！皆様、ありがとうございました。

第56回全国社会教育研究大会徳島大会  
実行委員会委員長 美馬 義明

## 第57回全国社会教育研究大会大分大会 第45回九州ブロック社会教育研究大会 ご案内

### ～大分発「生かそう！みんなの学び 創ろう！地域を拓く社会教育」～

社会教育は、時代の変化に柔軟に対応しつつ、これまで様々な取組を重ねてきました。社会教育の目的は、広範な学びの機会を提供し、その成果を実生活に生かすことです。人々の学びと実践は、社会の活力の源であり、学びの成果は新たな学びを創造していきます。

東日本大震災を契機として、多くの人々が「どう生きるか」について自分自身に問いかけています。また、これからの人口減少社会にどう対処していくか。我々が真摯に向き合うべき課題です。このように社会を取り巻く環境はめまぐるしく変化しますが、学びと実践の循環という社会教育の形は普遍であると信じます。

大分県は、豊かな自然と多彩な農林水産物に恵まれ、幅広い産業がバランスよく集積した「ものづくり県」です。また、豊富な温泉や歴史に彩られた「観光県」でもあります。多くの人々がそれぞれの地域で、「安心・活力・発展」の大分県をめざし、創造力溢れる社会教育活動に取り組んでいます。そのような活力あるふるさととは、何よりも人々の学びと実践に支えられています。そして、それを未来につなぐのが子どもたちです。本県では平成19年2月に「地域協育振興プラン」を策定し、学校・家庭・地域が連携協力して子どもを育む「協育」ネットワークを構築してきました。この取組を通じて、いま社会教育に求められるのは「人づくり」、そして「人と人をつなぐ力」であると感じています。

このたび、全国の社会教育関係者が大分に集い、学び、そして交流する絶好の機会を得ました。私たちは、皆様を大分のおもてなしでお迎えするとともに、各地の素晴らしい実践を学び、ふるさとにおおいたにしっかり根をおろした、人と人をつなぐ社会教育を再生したいと考えています。

大分県社会教育委員連絡協議会会長

平成27年度全国社会教育研究大会大分大会実行委員会委員長 山崎 清男

#### ◇大会の概要

1. 期 日 平成27年10月7日(水)～9日(金)
2. 会 場 ホルトホール大分(大分市金池南一丁目5番1号)ほか
3. 大会日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
第1日 10/7 (水)								社教連協議会			
第2日 10/8 (木)	九州議 事会	社教議 事会		実行 委員会 総会	ア ニ メ シ ョ ン	開 会 行 事	基 礎 講 義	講 義	分 科 会	閉 会 行 事	
第3日 10/9 (金)	シンポジウム			閉 会 行 事							

#### 4. 分科会

分科会名	テーマ
第1分科会	地域活動を担う人材の育成
第2分科会	地域コミュニティの活性化
第3分科会	家庭教育支援の充実
第4分科会	学校、家庭、地域による教育の協働
第5分科会	地域活動を充実させる社会教育委員の在り方
第6分科会	学びを支援する社会教育施設

#### 5. 大会参加費 5,000円/人

※内容は変更になることもありますので最新情報をホームページによりご確認ください。

平成26年度

地区別社会教育

研究大会

## 北海道地区

地域で支える子育て運動の中での社会教育の役割とは？

「次代を担う子どもたちの健やかな成長は大人の責任！」

第54回北海道社会教育研究大会（宗谷大会）は、10月16日、17日の両日稚内市で383名の参加を得て開催されました。

1日目は、稚内市教育相談所の平間信雄所長に「宗谷の子育て運動、教訓をさぐり、未来につなぐ」と題して、世界ではじめて国の内外に「子育て平和都市宣言」を表明した稚内市における市民ぐるみの「子育て運動」について、体験を交えた講演をいただきました。午後からは6つの分科会において、それぞれの提言に基づき活発な意見交換及び協議が行われました。

2日目は全体会に続き、記念講演では「南極人からのお願い」と題して、第52次南極地域観測越冬隊員の市川正和氏（稚内市職員）から極寒



を約740名の参加を得て開催しました。

初日は、開会行事・アトラクションに続き、秋田県出身で俳優の柳葉敏郎氏と、フリーアナウンサーの石垣政和氏が対談形式の講演を行いました。

「ふるさとを語ろう」と地域のこ」と 仲間のこと、子どものこと」と題した講演では、「故郷である秋田で子育てがしたかった」という柳

葉氏から、生活のベースを仙北市に移し、人とのつながりを大切にしながら過ごしている様子が伝えられました。世代をこえ、様々な立場の住民が連携することで地域の活性化につなげていくという内容に、参加者

は本大会のテーマであるネットワークの大切さを感じることができました。

2日目は、社会教育委員関係部会2つと公民館関係部会3つの計5分科会に分かれ、社会教育の充実方策について活発な研究協議が行われました。最後に、本大会の成果について今後に生かすことを大会宣言で決議し、盛会のうちに大会を終えました。

東北地区社会教育委員連絡協議会  
会長 伊藤 晴美

## 関東甲信越静地区

今、社会教育にできること、私たちにできること

「地域社会に貢献する社会教育委員のすがた」

11月20日・21日に鎌倉市をメイン会場に第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会が、約850名の参加を得て盛大に開催されました。

1日目は、記念講演の講師にロサンゼルス五輪柔道無差別級の金メダリストである山下泰裕氏をお迎えし、「人を育てる 人に育てられる 柔道を通して学んだこれからの生き方」と題したご講演をいただきました。

## 東北地区

社会教育が未来を創る

「ネットワークの再考」

11月13日、14日の両日、秋田市で平成26年度東北地区社会教育研究大会（兼第59回東北地区公民館大会）

地での生活体験や地球環境など貴重なお話を聞くことができました。

全日程を通して、大人の責任を問い、そして考えた大会は全道各地からの熱心な参加者にとって大変充実した有意義なものとなりました。

北海道社会教育委員連絡協議会  
会長 大島 峰夫



きました。

その後のシンポジウムでは、全国社会教育委員連合の坂本登常務理事に社会教育委員の現状、課題、対応策について提案をいただいた後、3名のシンポジストの方々により、「今、社会教育委員に求められること―活力と魅力あふれる地域をめざして―」をテーマに、活発な議論が行われました。

2日目は5分科会と初めての試みとして、公募委員と社会教育委員のOB・OGをテーマとした特別分科会が行われました。

参加された委員の皆さまが、今大会で学ばれたことを基に、各地区でさらなる活躍をされることを心から

願っております。

神奈川県社会教育委員連絡協議会

会長 鈴木 眞理

何を受け継ぎ何を創りだすか、

次世代を育てる社会教育

〜能登から新たな風が吹く〜

第45回東海北陸社会教育研究大会（石川のと里山里海大会）は、10月16日、17日に七尾市で約700名の参加を得て、盛大に開催されました。

1日目は、地元七尾東雲高校演劇科の生徒による「狂言 神山伏」の披露を皮切りに、その後の記念対談では、俳優で無名熱の主宰でもある

仲代達矢氏と作曲家として数多くの

作品を手がけてこられた池辺晋一郎

氏が「能登から新たな風を吹かせる

には」をテーマに、演劇と音楽の話

を通して、地域における息の長い活

動により次世代を育て、伝統を守っ

ていくということの大切さについて

語り合っていました。

2日目は、家庭教育支援や地域の活性化など、5つの分科会に分かれ、各県からの話題提供に基づき、活発な協議や意見交換が行われました。

多くの関係者の方々にご参加いただき、実り多き大会となりました。とくに厚く御礼申し上げます。本大会で学ばれたことがそれぞれの地域における社会教育活動の中で役立てられますことを心より願っております。

東海北陸社会教育委員協議会連合会

会長 持木 一茂

近畿地区

たがいに学び、支えあう地域社会を

めざして

〜多様な活動主体をつなげる社会

教育の役割〜

平成26年度近畿地区社会教育研究大会（大阪大会）は、9月12日吹田市文化会館において850人あまり



の参加を得て盛大に開催されました。

午前中は開会行事に続いて記念講演があり、コミュニケーションデザイナーとして活躍中の山崎亮さんによる講演をいただきました。山崎さんの豊富な実践事例に基づくユーモアあふれるお話は、会場を大いに湧かせるとともに、参加者にとって今後の社会教育活動の推進につながる貴重なヒントとなりました。

また午後からは、5分科会（地域づくり、人権教育、青少年教育、学校・家庭・地域の協働、環境教育）が開かれ、各地域の実践発表に基づく意見交換、討議が活発に行われました。

近畿地区の社会教育関係者が一堂に会する貴重な機会を得て、各府県の実践や研究の成果を共有するとともに、これからの社会教育のあり方について研究協議を深めることのできた本大会は、多くの方々のご協力のもと大変実り多いものとなりました。

ご来賓の方々をはじめとしまして、ご参加ご協力いただきましたすべての皆様に厚くお礼を申しあげます。

近畿地区社会教育委員連絡協議会

会長 高田 一宏

#### 九州地区

親子の育ち・学校・地域へのかかわり

これからの社会教育を目指して

第44回九州ブロック社会教育研究大会鹿児島大会は、11月13日、14日の両日、鹿児島市の宝山ホールを主会場に、900人を超える参加者を得て、盛大に開催されました。

1日目は、アトラクション、開会行事に続き、志学館大学教授で県立図書館長の原口泉氏に、「鹿児島島の伝統教育」と題して、暮末から明治にかけて数多くの偉人を輩出した薩摩藩の教育の特色について、講演し



ていただきました。

2日目は、4つの分科会に分かれ、①「親子の育ちへのかかわり」、②「学校へのかかわり」、③「地域へのかかわり」④「社会教育委員の役割」をテーマとして、それぞれ、2つの事例発表を基に、課題解決に向けた活発な意見交換や協議が行われました。

参加された社会教育委員をはじめとする、社会教育関係者の熱き思いを、鹿児島から発信することができた大会となりました。

九州ブロック社会教育委員連絡協議会

会長 武隈 晃

## 北から南から

### 「若者の地域貢献」再考

山形県社会教育委員連絡協議会

会長 安藤 耕己

昨年六月に本会会長を拝命いたしました。そのとき四一歳。さらに山形に移って五年も過ぎず、県社会教育委員としても四年を経ぬときのことだったので、甚だ当惑いたしました。ただ、傍から行政を「評論」することから一歩踏み込んでみようとも思い、以後、諸先輩方と事務局の方々を支えられ、なんとか職責を果たし得てきたかと思えます。

私は現在、山形大学に社会教育主



事課程責任者として在職しており、青年教育を主に研究してきました。ゆえに県の青年教育推進事業に関わってまいりますが、そこで理解が深まってきたところがあります。

たとえば、「若者の地域貢献」をめぐってです。施策上も違和感なく用いられてきた言説ですが、人口減が顕著となる中、従来からある地域貢献・奉仕が、現在では地域の若者にとつてかなりの負担になっていきます。さらに、「地域のため/人のため/世のため」が先に立つと、さらに負担が増すようです。

そのときに、私が進行役を担ったある討論会で、都会からリターンし、内外の人びとを呼び込むフェスタを主催している若者からの発言に揺らぐがされました。地域活動をする理由を問うと、「自分と家族のため」との言。もちろん、続きがあります。「そのためには周りの人びとに協力してもらわないと」。結果、賛同してもらったみんなを巻き込んでいくと。「私事性」から立ち上がる「公共性」。当事者からの視点で若者と地域との関わりを再考させられました。併せて、地域に暮らし続けるためのなりわい生業の確保の重要性も。

本県においても社会教育委員はべ



佐賀県社会教育連絡協議会は、市町の委員195名、県員11名、計206名によって構成されている。主要な活動は、年一回の総会、研修会、及び基礎研修会、各ブロック単位（元教育事務所単位）の研修会である。

会長 上野 景三

佐賀県社会教育委員連絡協議会  
研修の充実を探る

テラン中心となりがちですが、若者の日常とその意識に立脚しつつ、「冒險」をも許容する価値も、みなで共有していきたいと思っております。10月1日（木）、2日（金）に鶴岡市で平成27年度東北地区社会教育研究大会・第60回東北地区公民館大会が開催されます。みなさまのお越しをお待ちしております。

ある。社会教育委員といえば、かつては学校代表、社会教育関係団体の代表、学識経験者等で構成されていた。それぞれの立場で実際に社会教育活動を推進してきた人ばかりであり、公民館運営審議委員との兼務という人も少なくなかった。

ところが社会教育法の改正後は、必ずしも社会教育経験者ばかりでなく、自治体ごとの基準によって委嘱することができるようになった。つまり多様な委員が委嘱されることになった。その結果、幅が広がる一方で、社会教育や公民館への理解が不足し議論が深まらないケースも見られるようになった。したがって社会教育委員の研修が、これまで以上に重要となるわけである。

ところが研修を企画するときに、困った問題に直面した。予算である。社会教育委員連絡協議会は独自の収入がないことから、絶えず予算不足である。有名な講師をお呼びして、りっぱな研修会を開催することはできない。ブロックごとの研修会も徹々たる予算である。それでも少ない予算のうちから九州の先進地から優れた実践をしている方に報告をお願いしていた。だがそれももう限

界である。ところが、気づいたことがある。県内のすぐれた実践から学ぶ研修会にはできないものだろうか。社会教育委員や公民館ばかりでなく、地域づくりやNPO、社会福祉などの関連する分野で先進的な実践に取り組んでおられる方がいるのではないだろうか。探してみると、子どもたちの情報リテラシー活動に取り組んでいるNPO、家庭・学校・地域の連携に取り組んでいる中学校、困難を抱える若者支援をしているNPO、県生涯学習センターと市町の公民館のコラボレーション事業等々、いろいろあるではないか。私たちが知らなかっただけなのだ。地域から探り出した事例実践を、社会教育委員の研修会に組み込んでいった。

研修会は、少しずつ充実を見せている。先進的な事例から学ぶことも大切であるが、社会教育の泉は足元にあると言われる。私たち社会教育委員も、自らの足元を見つめ掘るところから始めなければならぬ。しかしそれだけでは不十分である。泉から汲み取った水を、自治体住民の渇いた喉まで届けるのが社会教育委員の役割なのではないだろうか。

— 改訂版 —

社会教育委員のためのQ&A

社会教育委員 必読の一冊

新版



A5判 定価1,260円(税込)  
企画・編集 /  
(一社)全国社会教育委員連合  
発行 / (株)美巧社

主な内容

社会教育とは、社会教育と生涯学習  
社会教育委員委嘱の視座  
自治体に応じるとは  
教育委員会への助言とは  
必要な研究調査とは  
社会教育委員制度の活性化

社会教育と社会教育行政  
実生活に即するとは  
環境を醸成するとは  
社会教育を行う者とは  
社会教育の振興と地方公共団体の任務  
会の支配に属しないとは  
教育委員会と社会教育関係団体の関係

## 「社教連」だより

## 平成26年度

第3回理事会・総会について

平成26年度第3回理事会・総会を

2月24日(火)に日本弘道会ビル8

階講堂にて開催する予定です。

議題は①平成27年度事業計画

(案)・収支予算(案)②第57回全国

大会(大分大会)③第58回全国大会

(千葉大会)④第59回全国大会(北海

道大会)について⑤その他を予定し

ております。

## 平成27年度

第1回理事会・総会について

平成27年度第1回理事会・総会を、

5月21日(木)に日本弘道会ビル8

階講堂にて開催する予定です。

議題は①平成26年度事業報告・決

算報告②第57回全国大会(大分大会)

③第58回全国大会(千葉大会)④第

59回全国大会(北海道大会)⑤その

他を予定しております。

ご多用とは存じますが、ご予定く

ださいますようお願いいたします。



## 社会教育手帳 2015-2016 新版



会議の備忘録等に最適です  
新書版 定価1,296円(税込)

## 主な内容

1. 備忘録と生活情報
2. 社会教育資料
3. 全国社会教育委員連合の概要

ご注文は(一社)全国社会教育委員連合へ直接、またはホームページからでもできます

## 平成27年度社会教育研究大会一覧(予定)

全国大会 (大分大会)	10月7日(水)~9日(金)	大分県大分市
北海道地区 (日高大会)	10月22日(木)~23日(金)	日高管内(浦賀町)
東北地区 (山形大会)	10月1日(水)~2日(金)	山形県(鶴岡市)
関東甲信越地区 (群馬大会)	11月5日(木)~6日(金)	群馬県(前橋市)
東海北陸地区 (愛知大会)	10月22日(木)~23日(金)	愛知県(刈谷市)
近畿地区 (奈良大会)	9月4日(金)	奈良県(奈良市)
中国四国地区 (山口大会)	11月19日(水)~20日(金)	山口県(山口市)
九州地区	→ 全国大会と同時開催(大分県)	
指定都市	7月2日(水)	岡山県(岡山市)

## 社教情報



## 社会教育の明日を拓く 社教情報 No.72

特集・「まち」のリーダーが語る社会教育への期待

<巻頭言>コミュニティ・ソリューションと社会教育

<特集>執筆者

内海 隆

渡内 博、中野 五郎、逸藤 忠、上松 丈夫、土居 達也

<実践で語る戦後の社会教育史> 藤川 智子氏(岩手県)

取材 上條 秀元

<答申・提言>青森市社会教育委員会議の答申

解説 梶野 光信

<このひとに聞く>本広 克行氏(映画監督)

取材 清國 祐二

<社会教育委員の活動>愛知県東海市、新潟県三条市、広島県尾道市

<解説>コミュニティ・スクール

山崎 清男

<社会教育委員リレートーク>沖繩県→鹿児島県

編集・発行 (一社)全国社会教育委員連合  
TEL 03(6380)8540 FAX 03(6380)8541

## 生涯学習支援実践講座

## 生涯学習コーディネーターを養成

「生涯学習コーディネーター資格」が取得できます

いま、生涯学習領域で最も必要とされている生涯学習コーディネーター、生涯学習コーディネーター養成のための本格的研修講座、コーディネーターの知識・技術が4か月間の通信教育で習得できます。

案内書  
無料進呈!

詳しい案内書をご希望の方は、ハガキ・電話・FAXメールでご請求ください。

## 一般財団法人 社会通信教育協会

「生涯学習コーディネーター研修」事務局 〒114-0015 東京都北区中里1-15-8

TEL.03-5815-8432 FAX.03-5815-8433 e-mail sakai@tsushinkyoku.or.jp

## 通信教育

## 講座内容

第1単元(テキストⅠ)

コーディネーターの理解と技術

第2単元(テキストⅡ)

地域学習情報の活用と技術

第3単元(テキストⅢ)

コミュニケーションの仕方の理解

第4単元(テキストⅣ)

事業の設計とマネジメントにおける  
コーディネーター